

文化スポーツ局

令和3年3月10日

1. 図書館サービスの自動化

■質問: 黒田武志

来年度から新システムの仕様検討に入っていると聞いている。構築するにあたっては運用・保守業務のコスト面を考慮した汎用的なシステムの導入が必要と考える。現行システムの更新と新システムの開発についての方向性と、コスト面で、どういうメリットがあるのか、見通しを伺います。

■答弁: 岡田中央図書館長

利用者が多い図書館では、窓口サービスの一部自動化を取り入れていきたい。新たな機能の付加、一部サービスの自動化、そういったことも念頭に置きながら、withコロナの時代に即した利用者の利便性の向上に繋げていきたい。

■質問: 黒田武志

明石市の図書館では、タッチパネルでの蔵書検索ができるので、非常に使い勝手が良い。誰もが使いやすいシステムという視点で、新システムにおいては、コスト面だけではなく、利便性、機能性の向上が必要だと考えるがいかが。

■答弁: 岡田中央図書館長

使いやすい端末機がどのようなのかと言うと、やはりタッチパネル方式は必要だと考えており、新しいシステムに切り替える際、一部ではあるが、取り入れていきたい。

2. 新西図書館の整備

■質問: 黒田武志

新西図書館の整備にあたっては、図書館利用者や地域へのアンケート、意見公募を行ったが、様々な意見が出されていた。今回の整備にあたっては区民の意見を反映した整備を行っていただきたいが、開館に向けてどのように準備を進めていこうと考えているのか伺います。

■答弁: 岡田中央図書館長

施設の規模を拡充し、蔵書も豊富な種類を用意していた

だ。また、様々な座席、セミナー室も用意させていただく。令和4年9月頃の供用開始を予定しており、今後とも、市民の皆様ご意見をよくお聞きし、準備を進めてまいります。



▲新西図書館

■質問: 黒田武志

新西図書館は、西神中央駅前にあるが、車でお越しになる方々も多いと思う。駐車場付近またはこの西神センタービル内に、返却ポスト設置していただければ、非常に利便性が上がると思う。費用対効果を見極めて検討していただきたい。

■答弁: 岡田中央図書館長

新図書館のご来館いただくには、公共交通機関の利用をお願いしており、ご提案のような駐車場付近の返却ポスト設置という考えにはいたっていません。

■要望: 黒田武志

駐車場から新西図書館は結構歩く必要がある。返却する時はパッと返却しに行くだけだから、ぜひ設置の検討をしていただきたい。

3. 文化芸術を活用したまちの活性化・にぎわい創出

■質問: 黒田武志

彫刻に限らず税金を使って、アート作品を置くのであれば、コンセプトやストーリー性を意識して戦略的に設置することにより、人を呼び込むような政策が必要だと思うが、当局の見解を伺います。

■答弁: 岡田文化スポーツ局長

街並みの変化に伴い、本来の魅力が発揮できていないという指摘も当たっていると思う。今後、こうした作品のロケーションを進めていく必要があると思うし、また既存作品をもう一度美しくするという取り組み、若手アーティストも積極的に活用して、戦略的に進めてまいります。



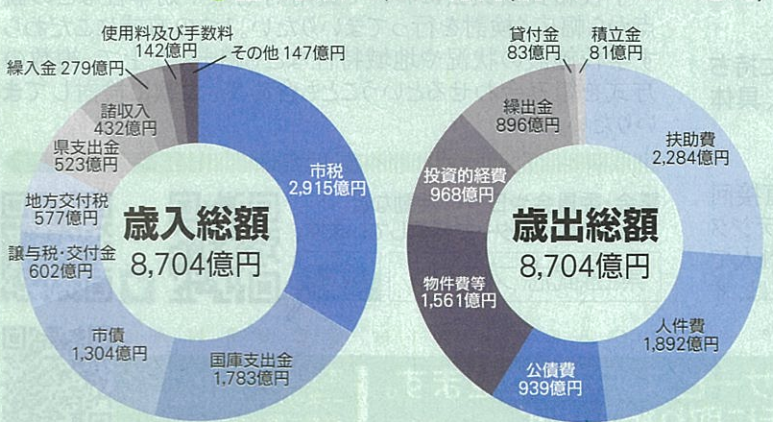
KOBE ISHIN JOURNAL

神戸市の令和3年度予算

海と山が育むグローバル貢献都市の実現

予算総額: 1兆8,531億円

- 一般会計: 8,704億円(前年比: +317億円)
- 特別会計: 6,535億円(前年比: -173億円)
- 企業会計: 3,292億円(前年比: -204億円)



神戸市のお金の使い道(予算)をわかりやすく

一般会計の支出を57万円になります

福祉の充実に 約23.3万円	教育・文化の振興に 約9.3万円	環境・衛生の向上に 約4.7万円
産業の振興に 約0.8万円	住宅・まちづくりに 約2.1万円	道路・公園に 約3.4万円
消防・救急に 約1.3万円	市会・区役所・市役所の行政の運営などに 約5.9万円	市債の返済に 約6.2万円

日本維新の会神戸市会議員団市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 https://kobe-ishin.jp/info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団政調会長
神戸市 議員
西区選出

黒田武志



黒田武志
予算特別委員会
質問する

特集

令和3年度予算特別委員会において、「こども家庭局」「港湾局」「教育委員会」「文化スポーツ局」に対し、局別審査を行いました。ナ方面に議事録抜粋を掲載いたしました。ご一読ください。

1 市政報告

神戸市中学校給食 冷たいおかずから、温かくておいしい給食の実現へ。

新年度を迎えました。神戸市内におきましても新型コロナウイルスが猛威をふるい続けています。医療関係者、高齢者の皆様へのワクチン接種が始まりましたが、未だ感染が収束する兆しはみえていません。感染拡大防止対策と共に、神戸の再生・成長に向けた経済・社会活動の取り組みを強力に推進してまいります。

さて、小学校で調理し、温かい給食を中学校へ配膳する「親子方式」の実証実験を、東灘区の六甲アイランド小学校、向洋中学校で視察させていただきました。手早く準備ができたクラスもありましたが、配膳、食事、片づけをすると昼食時間が20分間では短すぎると感じました。課題は山積ですが、教育委員会や会派の仲間と共に、冷たいおかずから温かくておいしい給食の実現へ尽力してまいります。



配膳方法も各クラスで異なり、食事の開始時間もバラツキがあります。試食もさせて頂きました。温かい春雨スープが美味しかったです。

2 市政報告

おいしい農作物を育てるために 農水路を改善

神戸市西区は人口23万人以上の人口を有す一方、都市近郊農業が盛んで、神戸を含む阪神間の食を支えています。このたび、西区の農業従事者の方々から農水路の問題についてご相談があり、現地視察の上、建設局と協議しながら取り組みました。



農作物を育てるに水が必要です。しかし、このような状態では十分に供給されません。定期的な水路の清掃や補修は欠かせません。安全のために、新たに柵を設置していただきました。

3 市政報告

新型コロナワクチンの高齢者への接種は無料です 接種スケジュールが決まりました。

新型コロナワクチンは主に発症や重症化の予防が期待されています。神戸市では、集団接種会場のほか、市民に身近な病院や診療所でも新型コロナワクチンを接種できるように準備を進めています。

個別接種	身近な病院や診療所等 一覧が配布されますのでご確認ください
集団接種	西神中央駅ビル、[4・5月]西公会堂→ [6・7月]西水環境センター玉津処理場

	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17
接種券	■(4/19) 75歳以上の方(約24万人)へ発送		■(5/17) 65歳以上の方(約19万人)へ発送		
予約受付	(4/20~) 神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター 神戸市特設WEB予約サイト				
接種	(5/10~) 集団接種会場(12会場) (5/17~) 診療所・病院(順次)				

新型コロナワクチン接種に関するご相談は...

新型コロナワクチン接種コールセンター

078-277-3320

受付時間 平日/08:30~20:00
土日祝/08:30~17:30

対応言語 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語

令和3年度 予算特別委員会

局別審査 を行いました。

議事録抜粋



こども家庭局 令和3年3月2日

1. 子育て支援施策の充実について

■質問: 黒田武志
子育て支援施策の充実が重要で、この度の予算案についても、令和2年度当初予算比で、約20億円増となっている。まず、令和3年度予算及び今後の子育て支援施策の充実に向けた方向性について伺う。

■答弁: 山村こども家庭局長
①希望する施設に入所できるような形で、待機児童解消を実現②児童虐待等、支援を必要とする児童等に対して、対応、相談、支援③こども未来課の設置により、全庁横断的な問題について、子供たちの未来を応援していきたい。

2. 市民に身近な手続きのICT化

■質問: 黒田武志
児童手当、児童扶養手当、子供医療費助成、ひとり親家庭医療費等の申請について、子育て世帯の支援、また、負担軽減の観点から早急に電子化を進めていただきたい。

■答弁: 八乙女こども家庭局副局長
電子申請化によって市民サービス、業務生産性の向上が図られるものにつきましては、こども家庭局としても積極的に電子申請化を進めていきたい。

■要望: 黒田武志
企画調整局や有識者の方々の意見も聞いていただき、スマホで完結できる電子システムの導入をお願いします。

3. 小学校内における 学童保育施設の整備・充実

■質問: 黒田武志
学童保育は、子供が小学校から児童館まで移動する安全面や小学校ではグラウンド・運動場が使えるといったことなどを考慮すると、本市でも原則小学校での実施に切り替えていただきたいと考えるが、見解を伺います。

■答弁: 八乙女こども家庭局副局長
市内の地域や施設の状況は様々なので、一律に小学校区に切り替えるという事は難しい。今後も学童保育の需要動向や各小学校の状況なども踏まえながら、子供たちが安全・安心に過ごせるように取り組んでまいります。

■要望: 黒田武志
西区でいうと有瀬小学校と有瀬児童館、伊川谷小学校と伊川谷児童館など、隣接していても、使用されていないグラウンドがまだまだある。教育委員会と連携を強化し、学童保育での運動場の利活用を広げていただきたい。

4. 学童保育施設における送迎支援

■質問: 黒田武志
小学校から距離が遠い、また、道路交通量が多い経路にある学童保育施設において、送迎支援を実施するとのことだが、具体的に支援というのはどのようにするのか。

■答弁: 八乙女こども家庭局副局長
令和3年度から送迎支援に対し、人件費等の経費を加算する。地域人材を活用するなど、地域の方々の協力を得ながら、子供の見守り体制を確保していきたい。

■質問: 黒田武志
徒歩以外、例えば、雨天時はタクシーで職員が送迎することや、児童が乗る公共バスでの引率もできるように送迎支援を活用していただきたいと思うが、いかがか。

■答弁: 八乙女こども家庭局副局長
徒歩以外の送迎支援の手法も検討する必要があると考えている。公共バスでの引率についても検討していきたい。子供たちが安全に利用できるような考えていきたい。

■要望: 黒田武志
神戸市全域は広く、西区や北区などは事情が違う。地域の実情に応じ、活用できる仕組みを実現していただきたい。

港湾局 令和3年3月3日

1. ウォーターフロントの再開発と誘客

■質問: 黒田武志
クルーズ客船により寄港する外国人旅行者をウォーターフロントに誘うことができれば、その経済効果は大きい。コロナ収束による外国客船再開後は、シャトルバスを運行するなど、積極的にウォーターフロントエリアへの誘客を図るべきと考えるが、見解を伺います。

■答弁: 辻港湾局長
クルーズ客船の場合、ツアーバスで出かける乗客も多い。そのツアーバスにいかに組み込んでもらうかが、非常に大事なことになる。シャトルバスについても、仕組みを検討していきたい。

■質問: 黒田武志
来年度からリニューアルに着手するポートタワーについて、耐震改修とあわせて、隣接する中突堤中央ビルも含め、外観、内装、施設についても、統一して洗練されたデザインにする必要があると考えるが、見解を伺います。

■答弁: 和泉港湾局担当部長
低層4階の展望テラスや屋上階に360度見渡せる展望フォローを設置するなど、ポートタワーの新たな魅力の一つとなるような仕掛けづくりにも取り組みたい。神戸ポートタワーと中突堤中央ビルが一体となって相乗効果を発揮するよう取り組む。

2. 東南アジア等からの広域的な集貨

■質問: 黒田武志
東南アジアを中心とする9つの国・地域の14港湾と連携協定、いわゆるMOUを締結している。コロナ収束後はこれらのネットワークを活用しながら、広域的な集貨に積極的に取り組むべきと考えるが、見解を伺います。

■答弁: 辻港湾局長
海外港湾との良好な関係の維持構築は、神戸にとって非常に重要である。こういったネットワークを生かしながら、広域の集貨につながるような取り組みをしていきたい。

3. 港湾におけるIT化、DXの推進

■質問: 黒田武志
港湾のIT化の遅れを痛感しています。感染症対策だけでなく、生産性の向上、働き方改革の観点からも、港湾におけるIT化、さらにはDX化を積極的に推進していく必要があると考えるが、見解を伺います。

■答弁: 辻港湾局長
IT化なり生産性の向上についての取組状況やニーズについても、可能な限り把握していき、競争力強化に取り組んでいきたいと考える。

■要望: 黒田武志
全国に先駆けてIT化、DX化を推進し、神戸港の国際競争力、強化を図っていただきたい。

4. 神戸空港の投資計画 ブランディング

■質問: 黒田武志
新型コロナにより経営状況が悪化する中で、必要な投資について、縮小や先送りは生じているのか。

■答弁: 河原港湾局担当部長
神戸空港の安全・安心に関する必要な投資については、実施時期の見直しについては行うものの、縮小というものはなく、最優先で実施すると聞いている。

■質問: 黒田武志
神戸空港だが、ブランディングを意識して神戸の魅力を高めていただきたい。洗練されたデザインを一貫して用い、神戸空港の魅力向上を図り、神戸を訪れる方々の満足度向上を図っていただきたいと考えるが見解を伺います。

■答弁: 西森港湾局技術担当局長
連絡橋の4車線化や、道路の見直し等の改修があるので、それに合わせ、改修や統一をさせていただきたい。

教育委員会 令和3年3月5日

1. GIGAスクール構想について

■質問: 黒田武志
1人1台の端末や、電子黒板に教員用の教科書の内容を投影し、児童・生徒は紙の教科書と併用しながら授業を行っていくことになっている。デジタル教科書の導入について、どのように考えているのか見解を伺います。

■答弁: 山下教育委員会事務局総合教育センター所長
来年度、児童・生徒用のデジタル教科書導入について、効果・影響を検証するための実証事業が予定されている。本市としては、小学校で95校、中学校で45校において、この事業に申請を行っている。今後の国の動向を注視したい。

■質問: 黒田武志
子供たちが使用するタブレット端末は、今後、家庭に持ち帰って教育ソフトを使用した家庭学習にも活用するが、具体的にはどのような活用を想定しているのか。

■答弁: 竹森教育委員会事務局学校支援部長
持ち帰って宿題を含めた家庭学習に活用したい。直接回答を入力でき、自動的に正誤判定を行うことができる「デジタルドリル」を導入します。これは低学年の児童でも家庭で1人で取り組みやすいのではないかと。また、長期の臨時休業には、オンライン個別面談、ホームルーム等にも活用していきたい。

■質問: 黒田武志
児童・生徒が学校や家庭でタブレット端末を使用する際、不適切な使用を防止するために、最初に情報モラルをしっかりと教える必要があると考えるが、見解を伺います。

■答弁: 長谷川教育委員会事務局局長
端末そのものに一定の制限を設定してまいりますが、子供たちが自らを危険にさらしたり、あるいは他者をしてしまうことがないように、情報モラルについては、発達段階、学年に応じて繰り返し丁寧に指導を行っていく。

2. プログラミング教育の推進

■質問: 黒田武志
令和2年度から小学校の新学習指導要領においてプログラミング教育が必須となった。実施状況はどうなっているのか。1人1台端末は、どのように活用していくつもりなのか。

■答弁: 山下教育委員会事務局総合教育センター所長
今年度のプログラミング教育は、当初の予定どおりに実施することができなかった。令和3年4月からは、全ての小・中学校で1人1台端末の活用が始まるので、環境も飛躍的に向上する。十分に活用して充実した中身としていきたい。

■質問: 黒田武志
プログラミング教育は単にスキルを磨くだけではなく、論理的思考や創造性を身につけさせ問題解決行動にもつながる人材育成として非常に重要なカリキュラムであると認識している。今後どのようなビジョンで取り組んでいくのか。

■答弁: 山下教育委員会事務局総合教育センター所長
興味を持った児童・生徒が将来的にICT技術を駆使して価値を創造するようなデジタルトランスフォーメーション(DX)の人材として育てていくことは十分に期待される。その一方で、子供たちが社会の急激な変化、テクノロジーの加速度的な変化・新化の中で、新しい課題に出会ったときに自分で解決できていく、そういった態度が身につくようなプログラミング教育を展開してまいりたい。

3. 中学校給食の全員喫食 に向けた取り組み

■質問: 黒田武志
神戸市全域で温かくおいしい中学校給食の全員喫食を検討していくにあたり、①民間事業者による提供方式②給食センター方式③親子方式…この3方式を組み合わせることが重要とされている。学校施設の状況や地域の特性などを踏まえ、進めていく必要があると考えるが、見解を伺います。

■答弁: 長田教育長
学校給食委員会において費用対効果や効率性などの観点から幅広く検討を行ってまいりたい。1つの方式にこだわらず学校施設の状況や地域特性なども踏まえた上で、複数の方式を組み合わせるといことも含めて、柔軟に検討してまいりたい。



新しい力が未来を開く!! 自ら身を切る覚悟を示し、行政・議会改革を徹底します。本当に必要な住民サービスを充実させます。西区に住んで良かったと心から誇れる街にするため、全力で神戸市政の刷新に取り組みます。

オモテ面に続きます
議会・委員会や日々の活動など、ブログやツイッターで発信しています。
黒田武志ブログ 検索
K O B E I S H I N J O U R N A L
本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

ながさわ淳一 通信 5

**身を切る改革
継続実行中!!**
寄付額累計
2,415,440円

寄付状況	寄附額合計	
2019年(1月～12月)	400,000円	
2020年(1月～12月)	1,815,440円	
2021年3月16日	200,000円(震災遺構)	一般財団法人 3.11伝承ロード推進機構 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤビル3F

発行
日本維新の会
神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町
6丁目5番1号 1号館29階
TEL: 078-322-0185
FAX: 078-322-0184

令和3年 第1回 定例市会

1 聖域なき行財政改革の推進について

ながさわ 神戸を担う子どもたちにツケを回さないため、やめる勇気と断固たる決意を持って、職員の人件費の削減をはじめ、**関係団体への補助金や各種事業の根本的な廃止など、聖域なき行財政改革に取り組むべき。**

久元市長 断固たる決意で聖域なき行財政改革に取り組んでいかなければなりません。特に対象職員約12,000人の6.2%である750人の削減を掲げており、確実に実施していくことが重要だというふうに考えております。

仕事をやめるということ。やめる勇気を持って、やめる事業はしっかりやめる。やり方を変えられるものはやり方を変える。民間にお願いするものは民間にお願いする。

外郭団体の見直しも不可欠です。業務の内容と、あるいは必要な事業の廃止も含めた外郭団体の見直しということも、しっかりとやっていきたいと考えております。

ながさわ 市長は、これまでも再三にわたり、やめる勇気を持って、業務改革を遂行する必要性を訴えられていますが、いまだに危機感なく、漫然と仕事を続ける職員が多いと感じております。全庁一丸となって行財政改革を完遂するためにも、職員の意識改革の取組を強化すべきと考えます。

久元市長 組織の隅々にまで浸透をさせて、現場の職員からもこういう仕事は見直そうというような、雰囲気醸成していくということが自分に課せられた任務ではないかというふうに感じています。

ながさわ 要望 行財政改革で生み出した財源を神戸市民の皆さんにできるだけ還元するようによろしくお願いいたします。

2 神戸市におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

ながさわ 神戸市においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に当たっては、神戸市民が恩恵を感じることを肝要と考えます。今後、どのようにDXを推進し、市民サービスの向上に努めていくのか、見解を伺います。

久元市長 DXの推進は、自治体の情報システムの標準化・共通化を進めるということが非常に重要な視点であります。また市民とのコミュニケーションの改革ということから見れば、市民が知りたい情報を容易に探せるようなホームページの機能拡充、個々の市民のニーズにきめ細やかに対応するためのデータ連携基盤の構築、データに基づく政策形成の推進、行政手続のデジタル化を進めるということが大変重要です。

ながさわ 総務省が策定した自治体DX推進計画では、基幹系17業務のシステムを国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ移行することが示されました。通常、システムを移行する場合は多額の経費を発生いたします。神戸市として、どの程度の財政負担を発生すると考えられているのか。また、国に必要な財政支援を求めべきと考えますが、併せて見解を伺います。

恩田副市長 まだ国が標準仕様を作成している段階でございまして、この標準仕様に基づき、各事業者が開発した標準システムを自治体が採用するものでございますので、現段階で費用については不明と考えております。国のほうの財政支援でございませけれども、地方自治体の財政負担について、国が総額1,509億円の基金を造成しておりまして、自治体の移行経費を補填する。国費10分の10であるというようなことがあります。

ながさわ 16業務でBPR*を行ったとお聞きしておりますが、分析した業務数が少ないのではないのでしょうか。これからデジタル化を推進していくためにも、原則、全ての業務を分析し、市役所改革を推進すべきと考えますが、見解をお願いします。

***BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)**
現在の業務内容やフロー、組織の構造などを根本的に見直し、再設計すること。

今西副市長 業務のフローを分析して、最適を図るというBPRを行わなければ、そういう利用者の利便性の向上と、そして職員の業務生産性の向上につながらないというふうに思っているところがございます。この取組というものは、この今回のスマート化だけではなく、そして段階的に全ての業務に広げていくべきものと、考えてございますので、今後、民間事業者の支援もいただきながら、できるだけ幅広く展開をしてみたいというふうに考えてございます。

ながさわ DXの推進の一環として、住民基本台帳や税情報などの取り扱う個人情報も多いため、情報漏えいに対するセキュリティ対策の徹底が今以上に重要ではないのでしょうか。システムの標準化だけでなく、業務のデジタル化やスマートシティの推進など、神戸市のDXを強力に推進していくに当たり、セキュリティ対策の徹底をどのように取り組むのか、伺います。

恩田副市長 DXやスマートシティの推進には、情報の取扱いについて、住民に信頼いただくことが必要不可欠でございまして、情報セキュリティ対策の徹底を図っていきたくて考えてございます。

4 交通事業会計の今後の収支見通しと経営改善策について

ながさわ 令和3年度予算では自動車事業会計で約13億円の減収、高速鉄道事業会計で約31億円の減収となり、非常に厳しい経営状況となっております。大幅に収入が減少するのであれば、企業は安定的に経営を維持していくために、経費の削減に取り組み、収支均衡を図るべきと考えますが、どのような改善策を図っていくのか、見解を伺います。

岸田交通局長 高速鉄道事業会計におきましては、乗客数が大幅に減少しまして、令和2年度の減収を約55億円と見込んでおり、また、令和3年度につきましても、約31億円の減収を見込んでございます。今後、当面の間は純損益の大幅な赤字が続く見込みでございます。

危機的な状況に対応するため、平成30年4月から実施しております局採用職員の給与の5%カットに加えまして、令和3年度からは市長部局における労務職給料表の見直しに準じた局採用職員の給料表の見直しを行うとともに、令和5年度には給与のカット率を5%から10%へと拡大をするほか、西神山手線のワンマン化を図るなど、総人件費の削減に取り組んでいく予定でございまして、

さらに、省エネ効果の高い新型車両への更新や、照明のLED化を進めるとともに、駅施設や設備の長寿命化による投資計画の見直しなど、あらゆる経費の削減を図ってまいります。あらゆる経営改善策を実施し、安定的な経営を維持できるように取り組んでまいります。

3 中小企業への経営支援策について

ながさわ 神戸経済を回復、発展するためにも、この神戸市内で再起を目指す事業者への融資面や、経営面での専用相談窓口を設置するなど、事業者に寄り添った支援策を講じるべきと考えます。

今西副市長 感染拡大によって落ち込んだ神戸の経済を回復していくためには、新型コロナウイルス感染症の影響によって、やむなく倒産の事態に至った事業者の再起を支援することも大変重要な視点だというふうに考えてございます。

産業振興財団におきましては、中小企業診断士などによるコンシェルジュコーディネーターを常時配置して、窓口相談を実施してございます。

融資面での支援としては、倒産・解散後に、再度事業を立ち上げたいと考えている場合に利用できる再挑戦貸付けを県・市協調で実施をさせていただいてございまして、令和3年度には融資期間の延長など内容を拡充したものでございまして。このほかにも、日本政策金融公庫におきまして、再挑戦支援資金の貸付けを実施しているところでございます。

ながさわ 自動車事業会計では、特別減収対策企業債を発行するというのですが、臨時財政対策債とは違い、これは後年交付金での対応はないということですので、借金で事業運営をしていくことになり、大きな収支改善が必須となります。経費削減については、人件費の削減を実施することでしたが、それらの人件費削減策によって、どの程度効果が得られるのか、見解を伺います。

岸田交通局長 高速鉄道事業会計におきます人件費削減の効果額は、次期経営計画期間内の令和3年度から令和7年度までの5か年で約17億円を見込んでおります。

17億円の内訳

- 給与表の見直しとして
令和3年～令和7年までの5年間で約4億円
- 給与5%カットから10%カットにより
令和5年～令和7年までの3年間で約5億円
- 西神山手線のワンマン運転化として
令和7年約3億円
- 職員の稼働率向上として
令和3年～令和7年までの5年間で約5億円



子どもの居場所づくりの全市展開について

予算特別委員会



ながさわ 令和3年度予算において、「全ての子どもたちの未来を応援」として1億5,000万円計上されておりますが、そのうちの、子どもの居場所づくりの全市展開について質問します。子どもの居場所の全市拡大を図るため、居場所の立ち上げ支援等に関するコーディネーター機能を強化するとされていますが、このコーディネーター機能とは、こういったものを考えられているのか、教えていただきたい。

八乙女子ども家庭局副局長

子どもの居場所づくりのコーディネーターは、場所や人材の確保、資金や食材の調達等の課題解決に向けての実施団体をサポートするため、居場所づくりに関する情報提供や、各種運営支援を行っております。3年度は、この人員を増強することで、コーディネーターを強化して、機能全体を強化していくことを考えております。併せて、子ども食堂の運営を支援するために、寄附食材の受入れや配送、マッチング等を行う仕組みの検討も神戸市と連携して、行っていくことを考えています。

ながさわ 食材確保も含め、開設準備に向けた支援について、どのように考えられているのか、伺います。

八乙女子ども家庭局副局長

居場所の立ち上げ支援でございますが、各種助成制度の紹介であったり、場所の確保の支援などを行っております。令和3年度から市補助制度におきまして、月1回実施に対する補助額を新設するほか、備品購入に係る費用の補助を拡充することを考えております。食材確保につきましては、食材配送等に係るコストや課題を検証した上で、食材配送やマッチングの仕組みづくりについての検討を行いたいと思います。

教育委員会

中学校給食の全員喫食に向けた調理体制の確保について

ながさわ 今回の予算で温かい給食での全員喫食に向けてかじを切る判断については評価させていただきます。実現に向けては、調理体制、物流、衛生管理、コスト面など、多くの課題があると考えております。最も重要なのは、調理体制の確保です。センター方式と親子方式のハイブリッド方式という提案をさせていただきましたが、調理があまり特定のセンターに集中したりすると、災害や事故が発生した際、提供できなくなるリスクも高まります。また、遠くの学校に運ぶコストがかさむことに加え、温度管理も難しくなってきます。調理体制の過度な集中を防ぐとともに、トータルコストの圧縮や整備のスピードアップを図るためにも、小学校の給食室を活用する親子方式や、現在提携を行っている民間事業者とも連携を図るなど、既存資源の活用についても検討を行うことが必要であると考えておりますが、見解を伺います。

長谷川教育委員会事務局長 中学校給食の全員喫食には、1日当たり37,000食の提供が必要でございますので、委員御指摘のとおり調理体制の確保が最大の課題であるというふうにも認識してございます。費用対効果や効率性の観点から既存資源を有効に活用すること、我々も非常に重要であると考えてございまして、既存の調理事業者の活用を含めて、民間事業者の参入意向について、サウンディング調査を早期に実施してまいりたいと考えてございます。**全ての中学生に対して、温かい給食をできるだけ早期に提供できるよう、我々全力で取り組んでまいりたいと考えてございます。**

港湾局

須磨海岸の活用手法の検討について

ながさわ 須磨海岸のポテンシャルは非常に高く、四季を通じて多くの人々が訪れにぎわいのある海岸となるよう取り組んでもらいたいと考えています。来年度予算において、今後の須磨海岸の活用手法の検討を掲げていますが、具体的にどのような検討を行っているのか教えていただきたいと思います。

尾園 港湾局担当部長

令和6年、須磨海浜公園、それから海浜水族園の再整備が完了するということもございまして、近隣住民の皆様、それから海岸利用者の皆様の意見を幅広くお聞きしながら、家族連れで楽しんでいただける施設、オリンピック種目になったようなストリートスポーツ、こういうものを楽しんでいただける広場の設置、ほかの海岸の事例を参考にしながら検証したいと思います。

ながさわ 須磨海岸は、須磨海浜公園の再整備も含めて、国内外から人を呼び込めるような場所にしていかなければと思うのです。令和6年に新水族園や新宿泊施設のオープンが予定され、これに伴い大きく観光客が増えることが見込まれることから、活用手法の検討に当たっては地域の方々に加え、観光客利用の観点も踏まえながら検討を進めてもらいたいと思いますが、見解を伺います。



尾園 港湾局担当部長

神戸市の中でも重要な観光資源であるということは認識してございます。委員御指摘のように、須磨海浜水族園、それから海浜公園の再整備に伴いまして、海水浴シーズン以外のように、須磨海岸にいらっしゃらなかった方、これまで全然須磨海岸のことを御存じなかった方、そういう方も今後いろいろ訪れていただけることになろうかと思えます。海岸エリア全体として、一体的な整備が行われていくように、引き続き努めてまいりたいと考えております。

ながさわ 要望 神戸はもともとインバウンドの需要が少ないと言われております。ですから国内旅行の方を呼び込まないといけないと思えます。須磨海岸の魅力がこれから向上し、エリア全体の魅力が向上して、周辺の民間投資も進んで好循環が生まれると考えますので、今後、観光客利用の観点も踏まえながら、**活性化の取組を進めてもらいたいと要望します。**

経済観光局

地場産業の活性化について

ながさわ 地場産業にもコロナによる売上げ減少等の影響が出ておりますが、支援の具体的な取組についてお伺いしたいと思います。

西尾 経済観光局長

シューズ産業に関しては、令和2年9月に市内シューズ産業事業者を対象といたしまして、販路の変化等の経営課題を踏まえまして、危機回避の方法や、中長期的な事業展開について学び合うセミナーを開催するほか、シューズプラザでの新たなシューズ販売イベントなどへの支援を実施したところでございます。

新たな取組といたしましては、チャレンジ支援補助金や、楽天市場における神戸企業応援キャンペーン、こういったものにもケミカルシューズや真珠等の地場産業の事業者を活用いただいているところでございます。

令和3年度につきましては、新たな取組の支援としまして、新商品・サービスの開発の促進—これは神戸ブランド販売促進支援補助の対象事業の拡大や、新たなビジネス機会の創出に向けたオンラインでの商談会、オンライン商談の対応力強化への支援、DXへの導入支援等を予定しているところでございます。

また、令和2年度に引き続きメディア等と連携したPRに取り組むことで、地場産業の魅力を市内外に発信しまして、認知度の向上や販売機会創出に今後ともつなげていきたいと考えております。

ながさわ 特にケミカルシューズにおいてはこれまで百貨店や展示会の出店支援を行っていただいております。このたびの百貨店催事の中止等における販売期間の損失を踏まえ、新たな販路の開拓についてこのようなときだからこそ市が積極的に行うべきと思えますが、いかがでしょうか。

豊永 経済観光局副局長

神戸市では、平成18年度以降、ケミカルシューズの販路開拓支援を行っておりまして、産業振興財団が百貨店や展示会への出店支援をしているほか、神戸シューズ公式ウェブサイトの運営などを実施しておりまして、業界、産振財団、市が一体となって取組を進めております。

令和2年度でございますが、新型コロナウイルスの影響によりまして、百貨店催事、企業向けのプロモーションと、販売機会が減少しているというのは御指摘のとおりだと考えております。

感染防止対策を取りまして、日本グランドシューズコレクションなどのバイヤー向けの展示会について支援を行い、販路の開拓を行ってございます。また、業界ではコロナ禍あるいは昨今の流通構造の変化を併せまして、主にオンラインを活用した新たな販路開拓に

MICEの誘致の推進について

ながさわ 東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となったことにより、当初開催後に東京で予定されていたMICEが代替地を検討することになっていると考えられます。重点的に誘致を推進するべきではないかと考えますが、見解を伺います。

安岡 経済観光局担当部長

東京オリンピック・パラリンピックにつきまして、昨年3月に開催延期が決定されました。それに伴い、都内の会議場や展示場施設の使用できなくなることから、開催場所の再検討の動きが生じ、本市にも開催について数件の問合せがあったところでございます。

今回誘致に取り組んだ結果、医学系学会を1件神戸に誘致することができたというところでございます。引き続き幅広く情報収集を行いながら、誘致に努めてまいりたいと考えてございます。

ながさわ コロナの感染者数も、まだまだ予断を許さない状況です。しかし、私はコロナ後の経済のことも考えていかなければいけないと思っておりますので、このMICEというのは神戸経済にとって非常に重要な事業だと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

MICE (マイス) とは?
Meeting (会議・研修)、Incentive (招待旅行)、Conference (国際会議・学術会議) または Convention、Exhibition (展示会) または Event の4つの頭文字を合わせた言葉である。

について検討を進めておりまして、神戸市もこうした取組の支援を積極的に行ってございます。令和3年度につきましても、引き続き専門家との協議によるオンラインを活用した新たな販路開拓、それから百貨店催事、展示会の出展、それから販売チャレンジパイロットショップ事業を活用した駅ナカの公共スペース等による催事での販売支援、新たな企業向けプロモーション、新たなビジネス機会の創出に向けたオンラインでの商談会といったことで、新型コロナの収束状況を見極めながら、業界、産業振興財団と連携して、新たな販路開拓の支援に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。



長田区駒ケ林中学校のプールの整備について

ながさわ 竣工予定は、令和4年の2月であるため、生徒が使えるのは令和4年夏になりますが、遅れることのないよう着実に進めていただきたいと思います。その中で、留意していただきたいのは設計の問題です。目隠しの問題です。近隣には、高層の集合住宅があるため、気になることが出てくると思います。あらかじめ対応していただきたいと思います。考えますが、見解をお願いします。

羽田野 教育委員事務局担当部長

近隣に高層の集合住宅がございまして、また、道路に面していることもありますから、プールの整備について、学校とも現在協議を行った結果、周辺住民への音漏れ対策であるとか、周囲や上部からの視線を遮る工夫が必要と考えてございます。現在、設計を進めておりますが、どういった対策が可能か、どういった対策を行うかということを検討しているところでございます。



連絡先

ながさわ淳一事務所

address:
〒653-0835
神戸市長田区細田町
6丁目1-11

TEL: 078-754-7032
FAX: 078-754-7034

Mail:
33nagasawa@gmail.com
ながさわ淳一(長田区選出)





神戸市会は令和3年 第1回定例会(6月議会)において **補正予算を承認しました**

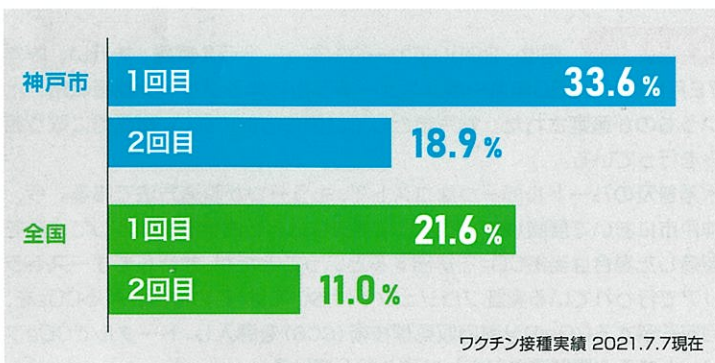
迅速なワクチン接種を行うとともに、市民生活・市内事業者の経済活動の支援に全力で取り組むための補正予算です。

補正予算 一般会計 69億800万円	ワクチン接種体制の拡充 49億6,000万円	検査体制の拡充・医療提供 体制の安定的確保 14億2,100万円
入院調整中患者・自宅療養者への支援 1億200万円	生活困窮者対策 4億4,100万円	文化芸術・市民活動支援 9,800万円
市内事業者支援 9億3,800万円	市民病院機構への支援金の減 △10億円	予備費の減 △5,100万円

川口まさる議員から健康局に対して「**新型コロナウイルス感染症対策**」についての**質疑がありました**

■ 新型コロナワクチン接種について

川口議員 7月7日時点の報告で、1回目接種率は神戸市33.6%・全国21.6%。2回目接種率についても神戸市18.9%に対して全国は11.0%であり比較的スムーズに進んでおり感謝している。国からのワクチン供給が滞っていると聞いているが引き続き工夫しながら取り組んで欲しい。一方で、ワクチン接種における事故がたびたび報告されていたが、ミスの後の対応こそが大切だと思う。形式的に再発防止策を報告するだけでなく、事実を真摯に受けとめ、原因を分析して、実効性のある再発防止策を講じて欲しい。



5月11日に起きた温度管理の逸脱による960回分のワクチン廃棄については、「保冷ボックスに入れたまま受領し、市職員が保冷庫に格納するという運用で配送業者および委託業者に対して指示していたが、配送業者内において配達員にまで徹底されておらず、配達員が保冷ボックスを回収してしまったため常温状態となった」と報告されていて、神戸市のホームページもそのように記載されている。他方、配送業者側のホームページでは「保冷ボックスは回収を求められていた」というふうになされていて、主張が対立しているので事実確認をしたい。「保冷ボックスの中身を授受し、保冷ボックスについては配送業者が回収する」という作業手順で合意がなされていたが、11日までに「保冷ボックスごと納品する」ように変更したのか。

健康局 我々は、変更したとは思っていない。十分に理解されていないと思ったので、もう一度指示をしたと認識している。

川口議員 8日時点ですでに、保冷ボックスごと納品するように約束していたのか。

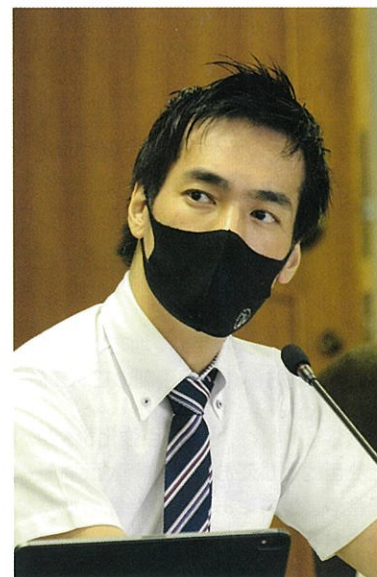
健康局 そこまでの細かい指示が確かにできていなかった。だから再度徹底した。

川口議員 仕様書には「中身のみお受け取りいただくよう案内する」と記載されているが、これはどういうことか。

健康局 仕様書をそのまま読むと「出して」ということしか書いていないので、ご指摘の通り指示は十分でなかったと思っている。

川口議員 配送業者のホームページによると、神戸市は「修正の記者会見を行う予定がある」と配送業者に対して一旦説明しておきながら、後にそれを撤回したと記載されている。神戸市の発表について「誤解を招く」「名誉・信用を著しく毀損する」と強く不満を表明されていて、訴訟リスクを抱えたのではないかと私は心配している。

配送業者が悪意を持ってやったわけがないので、結果的に伝わってなかったのは事実だと思う。コミュニケーションの問題で食い違っているように見受けられるが、配送業者だけが一方的に悪いとするのは無理があると感じる。神戸市の指示にも原因の一部はあるはずだし、受け取り担当の委託業者のアクションについても、依然疑問が残っている。今からでも神戸市の発表を修正することによって、係争を回避できるのならそれが望ましいと私は思う。健康局においては、配送業者とも、庁内でも、うまく交渉して欲しい。



地方分権について

川口議員 神戸市は「真の分権型社会の実現」という部分において「大幅な事務・権限および税財源の移譲」を要望しているが、具体的にどのような事務権限の移譲を想定しているのか。

企画調整局 指定都市に対する事務権限の移譲、税財源の移譲と、特別自治市の制度化に向けた取り組みを進めていきたく、これらを要望している。権限と財源はセットになる必要があり、協議が整ったものから、委譲を進めてきている。例として平成29年4月に、県費負担教職員制度の権限委譲があった。給与や加配定数などを神戸市自ら判断できるようになり、このときは合わせて県民税の所得割の2%を政令市に移譲した。

現在、検討・協議を進めているものの一つに二級河川の管理事務がある。河川法の改正により、県が管理する河川の管理権限を政令指定都市に委譲することが可能になったので、県市間で実務的な協議を重ねている。窓口が一元化されるので、市民からみて分かり易くなり、また市が管理者となることで、まちづくりにも効果的に寄与できると思う。今、体制やコストの問題を含め協議をしている。引き続き、実現に向けて、スピード感を持って協議を進めていきたいと考えている。

川口議員 市民にとって利便性が向上するようなものは、具体的に想定されていないか。

企画調整局 他の政令都市の例では、パスポート発給業務がある。神戸市では国際会館は、便利なところにあり、また土日営業しているが、都市によると少し離れたところにある。神戸市はそういった要望は少ないが「戸籍謄本は市」「パスポートは県」という二つの窓口を一つにすることも、事例としてはある。

川口議員 パスポートに限らず、二ヶ所から一ヶ所で完結できるように改めれば、市民にとっても利便性が向上すると感じる。

東京一極集中是正について

川口議員 神戸市は、地方拠点強化税制の支援措置の延長を求めているが、この地方拠点強化税制のこれまでの活用実績はどうなっているか。

企画調整局 地方拠点強化税制は、地方へ新たな人の流れを生み出すことを目的としており、事業者が、本社機能を東京23区から地方に移転する場合や、地方にある本社機能の拡充を行う場合に、税制上の優遇措置を受けられる制度である。この内、東京23区から本社を移転する場合（移転型）については、制度が創設された平成27年度から令和3年4月末時点で、全国では44件の活用実績があると聞いている。また神戸市において、現在のところ活用実績はない。

川口議員 神戸市において活用がなく、全国でも44件ということで、相当少ないと感じるが、これまであまり活用されてこなかった理由は分析できているのか。どのように支援内容を見直せば実効性のあるものになると考えているのか。

企画調整局 企業が移転を考える場合は、部門の集約や効率化を検討する。しかし強化税制の公募条件の中に「従業員を増やす」というような要素があり、また本社の建物の所有形態についても、この強化税制は所有している物件に対してのみ税制が適用される。そのため、なかなか進まないのではないかと考えている。

今後、事業者が本社機能を移転させるに足る、十分にメリットを感じられるような見直しをしていくことが必要だと考えている。

川口議員 地方拠点強化税制が市内雇用の創出に繋がれば良いと思う。活用を促すよう広報にも努めて欲しい。

水素エネルギーの利活用促進について

川口議員 神戸市は「グリーン社会の実現」という部分において「水素エネルギーの利活用促進」を要望している。しかしまず基礎的な前提事実として、水素を直接得る手段はない。人類は化石燃料など何らかのエネルギーを用いて水素を作って利用しようとするだけだ。例えば化石燃料の改質によって水素を作れば、化石燃料を直接利用するのと同様に、炭素を排出する。あるいは水を電気分解して水素を得る方法では、得られるエネルギーよりも大きな電氣的エネルギーを浪費してしまう。「水素はエネルギー源ではなくエネルギー媒体にすぎない」ということを前提としてまず認識して欲しい。

その上で神戸市は「利用段階において二酸化炭素を排出しない」という水素の側面だけを見るのではなく、製造・輸送を含めたサイクル全体を直視した上で意味のある技術について、今は情報収集に努めるべきと考えるがどうか。



企画調整局 国は「2050年カーボンニュートラル宣言」を行い、昨年12月には「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」というものが策定された。神戸市としては国の方針に従い、積極的に取り組みを行っている。

水素普及のハードルの一つはコストで、もう一つが製造方法である。今、神戸市において展開しているように褐炭など化石燃料を原料として水素を製造した場合は当然CO₂を排出するということが、並行してオーストラリアで行われている実証プロジェクトにおいては、この排出されるCO₂を、回収貯留するCO₂の分離回収処理技術(CCS)を導入し、トータルでCO₂フリーとする水素製造を目指して取り組んでいる。

あわせて回収したCO₂を資源として活用するようなカーボンリサイクル技術の開発や、再生可能エネルギー等から製造する水素の供給についても、世界各国で取り組みが進んでいる。日本でも、例えばCO₂を原料にしたポリカーボネートの製造や、またCO₂を吸収するコンクリートや、CO₂を原料にパラキシレンを製造する取り組みが行われている。今回、実験しているものも含め、先ほどの国の成長戦略の中でも、利用・輸送・製造面の取り組みというものが盛り込まれており、指摘の通り、その製造方法も含めて国や世界の動向も注視しながら、技術面も含め情報収集をこれからも行っていきたい。

川口議員 私はCCSについても、直ちに実現可能だとは思っていない。情報収集に努めるということなので、今後の技術革新を注視して行って欲しい。

神戸の持つポテンシャルは、こんなもんじゃない!!

つじ やすひろ
神戸市議員

相談・連絡先はこちら



発行元/
日本維新の会 神戸市議員団
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
Tel. 078-322-0185
Fax. 078-322-0184



HPIは、こちら▶▶

「神戸を選ばれる街に」するべく、日々、活動中! 本人直通 TEL 080-1250-7830

6月28日
本会議で
登壇

コロナ禍は、世界中で大規模な経済活動の縮小と、私たちが、これまで当たり前だと考えていた価値観や概念が、大きく変化するパラダイムシフトをもたらしています。私たちの日々の暮らしは、働き方やライフスタイルの変化等、コロナ前と大きく変わりつつある中で、神戸市においても、その変化をどのように捉え、経営資源と運営体制の最適化に取り組んでいくのか、をテーマに質問しました。

- ① 外郭団体の見直しについて
- ② 多様な民間専門人材の活用について
- ③ エンジニア人材の創出について
- ④ LGBTに対する理解促進について

Pick up!

日本維新の会 神戸市議員団で一丸となって取り組んできた「外郭団体の見直し」が、一歩前進!

【つじやすひろ 質問趣旨】

時代に適合した外郭団体の活用はできているのか?外郭団体の改革を推進するためには、団体任せにせず、市長のリーダーシップの下、積極的に取り組むべき。外郭団体の徹底した見直しを!

【久元市長 答弁趣旨】

外郭団体 抜本の見直しへ 8月 推進本部立ち上げる考えを示す。
→詳細は、裏面に。

(6月29日付 神戸新聞朝刊に掲載)



私たちなら
できる!

新型コロナウイルス危機を
ともに克服しよう!

新型コロナウイルス
感染に関して
セルフチェック
できます。



☎ 症状に不安や心配な皆さまへ
健康相談窓口(24時間対応)
078-322-6250

新型コロナワクチン接種 相談窓口

受付時間: 8時30分~20時00分(平日)
8時30分~17時30分(土日祝)

☎ 神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター

ワクチンの接種が可能な市内医療機関の紹介や集団接種の予約方法の案内、接種券の再発行などの問い合わせを受け付けています。

078-277-3320



◎耳や言葉の不自由な方の予約に関するご相談はこちらから

mail : pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp FAX : 050-3156-0729

※EメールやFAXでの予約は受け付けておりません

☎ DV被害等のやむを得ない事情により、接種券がお手元に届かない方の相談窓口

DV被害等のやむを得ない事情により住民票住所地以外の場所にお住まいの方で、接種券がお手元に届かない場合は、申請により指定の住所に接種券を送付します。

078-277-3328

接種は強制ではなく、あくまでご本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。

新型コロナワクチンについては、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をお勧めしています。しかしながら、接種は強制ではなく、あくまでご本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。接種を望まない方に接種を強制することはありません。また、受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。(厚生労働省HPより)



料金受取人払郵便

神戸中央局
承認

8735

差出有効期間
令和4年1月
31日まで
(切手不要)

6508790

924

神戸市中央区加納町6-5-1
1号館29階

日本維新の会
神戸市議員団

(神戸市議員
つじやすひろ 行)

アンケートにご協力をお願いします。

問1 ワクチン接種はお済みですか。

接種済み(1回目、2回目) 未接種

問2 未接種の方にお伺いします。

◎その理由をお答えください。

予約が取れていない 打ちたくない 特典あれば
 国産ができれば その他()

質問1 外郭団体の見直しについて

外郭団体とは？

市が25%以上を出資又は出捐する法人のほか、市と人的又は資金的及び業務的に密接な関係を有する法人。**神戸市の外郭団体の多くは高度経済成長期に設立され、1995年度には最大の64団体あった。市の行財政改革計画に基づいて2020年度までの10年間で16団体が削減され、現在31団体となっている。**



② 個別団体の見直しについて

Q つじやすひろ: 神戸市の外郭団体には未だに、設立から50年以上経過している団体、赤字の株式会社や黒字の財団法人、さらには規模が小さくまた単一施設の管理を行うなどスケールメリットが発揮しにくい団体がある。民間事業者との代替性や団体の類似性などを踏まえて、団体の統廃合や、プロの民間人材を登用する等の思い切った経営改革を進める必要がある。さらには経営状態が良くない団体は経営者の交代を図るなど、団体の状況によって必要な処方箋は異なると思うが、今後、個別団体の見直しをどのように進めていくのか。具体的にどこに力を入れるのか。

A 久元市長: とりわけ課題があると考えているのが、神戸すまいまちづくり公社とOMこうべである。既成市街地とニュータウンという今の役割でいいのか。市全体のまちづくりを担う法人と、住宅施策を担う法人で再編する考えもある。早期に見直したい。個別団体について、必要に応じ見直しを進めていくが、同時に外郭団体のトップを含む人事も重要であり、適切に関与していきたい。

① 今後の取組みについて

Q つじやすひろ: 外郭団体の改革については、これまで我が会派として再三にわたり指摘してきたが、本格的な改革はこれからとの認識は、市長と見解は一致しているものの、改革を推進するためには、改革の全体的な方針とスケジュールを明示したうえで、団体だけに任せず、市長のリーダーシップの下、積極的に取り組んでいくべきである。外郭団体改革に向けた久元市長の決意と今後の取組みについて伺う。

A 久元市長: 設立目的や事業内容が時代や環境の変化に対応できているか、団体のあり方をゼロベースで検討する必要がある。これを具現化するために外郭団体の抜本的な見直し方針を8月に公表し、今西副市長をトップに据えた「外郭団体マネジメント推進本部」において、評価・検証を行い、見直しを図っていききたい。これは、全ての外郭団体に対して行う。

③ 株主権利の活用について

Q つじやすひろ: 株式会社の外郭団体には、もっと積極的に株主の権利を活用し、市の施策の実現への貢献や配当の要求等を求めていくべきではないか。

A 今西副市長: 従前から株主配当を行っている団体もあるが、まだ実現できていない団体もある。コロナ禍という状況があるので、団体の神戸市に対する貢献については、さらに踏み込んで団体との間で協議をしてみたい。

要望 つじやすひろ: 8月に見直しの方針をだすとのことだが、いつまでに、何を、どうするのか、しっかりと今後明示して頂きたい。団体の存在が自己目的化することのないよう団体任せの見直しにせず、市長の強いリーダーシップの下で、より大胆に、時代に合った改革を実行頂きたい。

質問2 多様な民間専門人材の活用について

専門的知識・経験を持つ民間人材のより積極的な活用で、自前主義からの脱却、「攻めの行政」への転換を！外部からの民間専門人材とプロパー職員の切磋琢磨で、相乗効果を狙え！

質問3 エンジニア人材の創出について

エンジニア人材育成の取組みに注目せよ！アップル社に世界最高齢プログラマーと紹介され、世界中の注目を集めた当時82歳の日本人女性を御存じか？ シニア世代だからこそ分かる視点は武器になる！若年層だけでなく、今後、年代に関係なく幅広い人材の育成につながるような取組みを！

質問4 LGBTに対する理解促進について

パートナーシップ制度、政令指定都市 全国20都市のうち、導入済みが16都市。神戸は導入せず。自治体が、公に「2人がパートナーとして今後、支え合って生きていくと誓ったこと」を認めてくれることの意義は大きい。多様な生き方が認められる社会を！

あなたの声を聞かせてください / アンケートにご協力をお願いします。

問3 困っていることをすべて選んで☑をつけてください。(複数可)

- 就業先が見つからない。/内定取り消しがあった。/失職した。
- 収入が減少した。
- Wi-Fiなどオンライン(インターネット)の環境がない。/使い方が分からない。
- 育児・介護により、仕事を休まなければならない。
- 新型コロナウイルスへの不安や心配事について相談できる人がいない。
- その他(自由記載)

(ふりがな)		年齢
お名前 または ニックネーム		歳
ご住所	〒 神戸市	
お電話番号		

切り取って切手を貼らずにポストにご投函いただくかメールかFAXでお送りください。
FAX: 078-322-0184 メール: info@kobe-ishin.jp

新型コロナウイルス感染症に伴う主な支援策一覧

個人向け
令和3年7月26日時点

生活支援



市税の徴収猶予

1年間、市税の納付が猶予
担保の提供は不要です。延滞金もかかりません。

【対象となる市税】 固定資産税、個人市県民税、法人市県民税等ほぼすべての税目が対象となります。

神戸市税務部収税課(平日) 078-647-9491

みき 三木しんじろう 2021年夏号 通信

三木しんじろう事務所 神戸市中央区日暮通1丁目3-11-1-1F 090-9096-0039
お問い合わせ・ご意見は、こちらまで。 mikishinjiro@gmail.com

2020年7月～2021年6月「都市交通委員会」(交通局・都市局・建築住宅局)に1年間所属させていただきました。委員会・議場での質疑を一部ご紹介させていただきます。
2021年7月からは、「教育子ども委員会」(教育委員会・子ども家庭局)に所属させていただき、学校・保育所・学童保育・児童福祉施策・乳幼児の保育・DV被害者支援などの課題に取り組ませていただきます。神戸市政を含め、ご意見やご要望がございましたら、メールにてお問い合わせいただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



車両に抗ウイルス・抗菌加工実施について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、車内消毒の定期実施や窓を開けての車内換気など、様々な対策を行っているが、安心してご利用いただけるよう、地下鉄・市バス全車両の車内に抗ウイルス・抗菌加工を行っていただきたいと要望しました。

→神戸市交通局の「市バスと地下鉄の車両への抗ウイルスと抗菌加工の実施」について実行されることとなり、車両に加工実施済みのステッカーも貼られることとなりました。(2021.7.7&12.01の委員会にて質疑) 加工対象:地下鉄・市バス全車両(地下鉄 238両(43編成)、市バス 515両)



【内容】
つり革・手すり・窓・座席シート・壁面などに、抗ウイルス・抗菌効果のある薬剤を噴霧及び塗布します。
この抗ウイルス・抗菌加工は人体や環境に悪影響を及ぼすことはありません。
【コーティング剤について】
使用するコーティング剤は、インフルエンザウイルス等に対して、ウイルスの増殖を抑え感染力を弱める効果がおおよそ5年間持続できるものとなっています。令和2年12月中旬より順次開始、令和3年3月末までに全車両加工完了。



バス停にベンチの設置について

歩道が狭いなど、設置できないような箇所については、ベンチの規定サイズよりも、例えば幅が狭いものや新たな企画を研究し、今設置できていないところに対し、ベンチの形状や設置方法などを含め研究の必要性を提言しました。

→道路管理者とも協議をしながら、ベンチの形状・設置方法などを含め研究を行うとの答弁。今まで歩道が狭く設置困難だった、阪急御影駅のバス停にベンチが設置されました。



市バス利用時の意見や要望を伝える「お客様ハガキ」について

バス内にある「お客様ハガキ」は意見を集める上で重要である。バス内にハガキがなくなっている場合もあり、小まめに補充が必要である。こうしたことの改善や利用者からご意見を積極的にいただく必要がある。

→ハガキが入ってなかった件に関しては、運転士が入庫時に報告をし、運行係員が補充するという体制を取り、お客様からの御意見をサービスの向上に生かすためにスマートフォンを使って簡単に投稿できるように、お客様の声ハガキに併せてQRコードをつけることも実施することになりました。



お客様の声
ご乗車ありがとうございました。

1. 本日のご乗車のご感想はいかがですか。お気づきのことをご記入ください。

2. その他、市バス・交通局へのご意見・ご要望などお気づきのことがございましたらご記入ください。

ご乗車のバス
乗車日時 月 日 時 分～ 時 分
乗車系統 系統 車番
乗車停留所 降車停留所
運転士名(車内正面の上段に掲出)
ご協力ありがとうございました。

KOBE乗継検索

施設名称や目的地から、さらには地図上の任意の場所から市バスや地下鉄などの経路や料金、時刻表などが検索できる大変便利な「KOBE乗継検索」を是非、ご利用ください。

スマートフォン版

App StoreまたはGoogle Playで「KOBE乗継検索」あるいは「神戸乗継」等で検索し、ダウンロードすることでご利用いただけます。

[iOS版 ダウンロードページ](#) [Android版 ダウンロードページ](#)
(外部リンク) (外部リンク)



神戸市交通局のHPでのバスの路線図について

バス路線図はPDFで案内しているが、容量が重く、スマートフォンで開くのに時間もかかる。細かい箇所を見るために画像をズームすれば、更に時間がかかりスムーズに必要な箇所を見ることができない。外国語版を含め、早急に対応するよう要望しました。

→交通局HPにスマートフォン版の「KOBE乗継検索」のダウンロード案内を掲載。施設名称、目的地、地図上の任意の場所から経路、料金、時刻表などが検索可能です。PC版では、4か国語での案内を実施。路線図とKOBE乗継検索を相互にリンクさせるといったことも踏まえ、分かりやすくお伝えする仕組みを今後、考えるとの答弁でした。

https://www.city.kobe.lg.jp/a90404/kurashi/access/kotsukyoku/bus/rosen_01.html

交通局 地下鉄「業務の見直し」を実現しました。

委員会や分科会で三木が取組んでいた（勤務表・移動時間・勤怠管理システム）「業務の見直し・改善」が実行されました。2021年6月21日 都市交通委員会にて報告

見直し効果額
 ・勤務表の見直しにより職員出勤数の削減（10名の削減）：約9,000万円
 ・時間外勤務時間手当の削減（約45%削減）：約3,000万円
年間約1億2000万円の経費削減

地下鉄の勤務表の見直し

現行ダイヤのまま実施可能な勤務表の見直しを7月1日から実施。今後、ダイヤ改正等にあわせてさらなる見直しを検討していきます。

西神・山手線（平日）

- ① 待機時間の縮減（1日合計）
 平均 1時間46分 → 1時間20分 **全体で約30%縮減**
- ② 乗務終了時間の設定変更
 乗務終了の時刻を所定の勤務終了時刻に可能な限り、あわせた。
- ③ 時間外勤務時間の縮減 **全体で約45%縮減** **全体で約45%縮減**
- ④ 勤務表（仕業表）の縮減 **48仕業→46仕業（△2人）**
※

海岸線（平日）

- ① 待機時間（1日合計）
 平均 1時間34分 → 1時間01分 **全体で約40%縮減**
- ② 勤務表（仕業表） **18仕業→16仕業（△2人）**
※

※それぞれ2仕業削減するので、1仕業あたり西神・山手線は運転手と車掌の2名、海岸線は運転士1名が削減されます。これに出勤率を考慮すると△7名+△3名の合計が△10名の効率化が可能となります。

車庫への移動時間等の見直し

- ・西神車庫への移動時間 **20分 → 12分**
- ・名谷車庫への移動時間 **15分 → 10分**

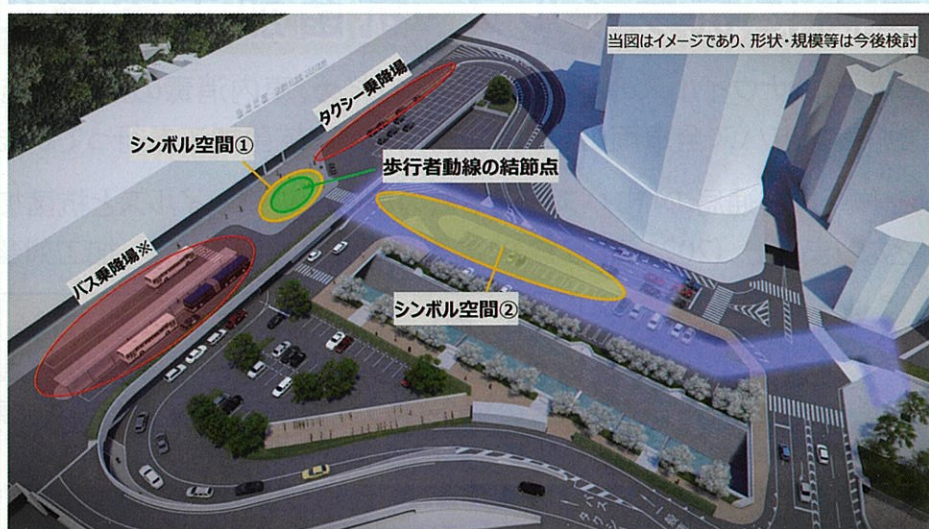
勤怠管理システムの導入状況

- ・乗務員 3月22日より、ビルの入退出管理システムを活用して、職員証認証による出退勤時間の客観的な管理を暫定的に実施済み。今後は、勤務表作成と連動したシステムを導入し、より効率的な勤務管理につなげる。
- ・駅務員 導入費用が効果的なシステムを検討中。



新神戸駅前広場再整備について

新神戸駅の周辺は歩く方も多い。すぐ近くには公園や観光地もあるが、駅の目の前は駐車場などのロータリーがあり、歩いて駅から行動しづらい状況、北野エリアや公園への動線の確保そのような視点からも再整備を検討していただきたいと要望しました。



中央区東部コミュニティバス「ふきあい南北バス」について



中央区の「ふきあい南北バス」は、令和元年12月から試験運転が行われましたが、利用率が少なかったという理由により当初より予定が短く、2か月で終了してしまいました。委員会や分科会の中で私から、地域の多くの方々から運転の再開を望まれておりコロナ禍であるが、東西にあまり広げ過ぎるのではなく、南北を重視したルートを検討を行い早急に進めていただきたいということを要望しました。また今後、実証実験を行う上で、第2案、第3案を前もって用意し、乗車率が上がらなければルートを変更するなど積極的な実験を行っていただきたい。区役所との連携や地域住民からの意見を聞き、再開を出来るだけ早く進めていただくことを重ねて要望しました。

→ 神戸市中央区コミュニティバス「ふきあい南北バス」の試験運行をルートを変え、再度行うことになりました。

- 【運行期間】 令和3年9月1日（水）～11月30日（火）
- 【運行日】 運行期間中の平日・土曜（日祝は運休）
- 【運行時間帯】 9時台～17時台
- 【運行車両】 ワゴン型車両（乗客定員13名）
- 【運行ルート】
 - 熊内ルート
熊内町—万代—JR灘駅（7便）
 - 神仙寺ルート
神仙寺—万代—JR灘駅（7便）
- 【停留所】 19か所
- 【運賃】 大人210円 小人110円 未就学児無料
※回数券11枚綴り2,100円
※敬老・福祉パス・ICカード利用不可

